

地上デジタルテレビ用フィルムアンテナを取り付ける

配線をする前に

作業中は車のキースイッチを「OFF」にしてください。

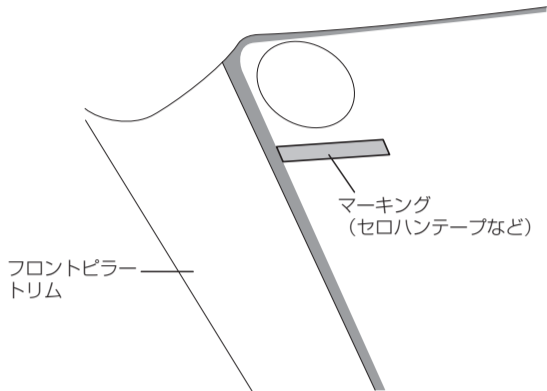
※下記の取り付け手順とイラストはフロントガラスの左側に取り付ける場合を記載しています。フロントガラスの右側に付ける際は対称になります。

右側を取り付ける場合も同様に手順1から作業を行ってください。

1 貼付位置について (表面参照)をよく読んで貼り付け位置を決める

(1) 位置決めのためのマーキング用テープを貼り付ける。

- エレメントの取り付け作業は、左側を表しています。(エレメントに [B] の記載あり)
- 位置決めのためのマーキング用テープは車外側のフロントガラスに貼り付けてください。



2 エレメントを貼り付ける

エレメント貼り付けについてご注意

- エレメント貼り付け後3時間以内は貼り付けたエレメントにガラスクリーナー等を吹きつけたり、エレメントの上から直接ガラスを拭いたりしないでください。また、エレメント上を直接拭くときは時間にかかわらず、柔らかい布等を使用し、エレメントに傷が付かないよう注意してください。

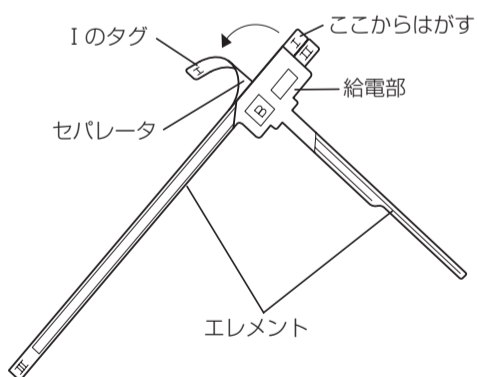
(1) フロントガラスの汚れ (ゴミ・油など) やくもり止めを付属のクリーナーで拭き取る。

- クリーナーできれいに拭き取りフロントガラスは乾いた状態にしてください。
- ※ フロントガラスが乾かないうちは貼り付けしないでください。エレメントがフロントガラスに貼り付かなくなります。
- 冬場などは車内ヒーターを入れ、霜取りおよびガラス面を暖めてから作業を開始してください。
- ※ 作業中は、車のキースイッチをOFFにしてください。

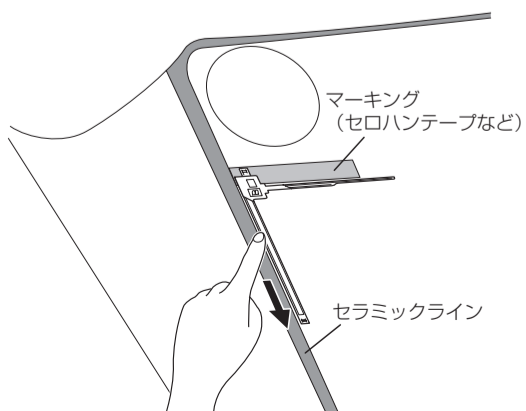


(2) Iのタグを持ってエレメントからゆっくりとセパレータをはがす。

- セパレータを急にはがしたりエレメントを強く曲げたりするとエレメントが断線するおそれがあります。
- ※ セパレータをはがしたあとは、のり面 (エレメント色黒色の方側) に指紋やホコリ等がつかないように注意してください。エレメントが貼り付かなくなります。
- 車内から文字 ([B]) が読めることを確認してからマーキングに合わせて貼り付けてください。
- 空気が入ったり、しわが寄ったりしないように端から貼り付けてください。

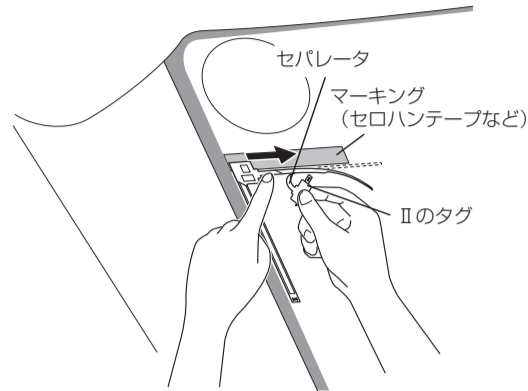


一度エレメントがガラスに貼り付くと貼り直しはできませんのでご注意ください。



2 (3) IIのタグを持ってフィルムからゆっくりとセパレータをはがしながら横方向のエレメントを貼り付ける。

お願い IIのセパレータをはがす際に途中で止めると、エレメント部に白濁が残ります。スムーズに加圧しながら貼り付けてください。

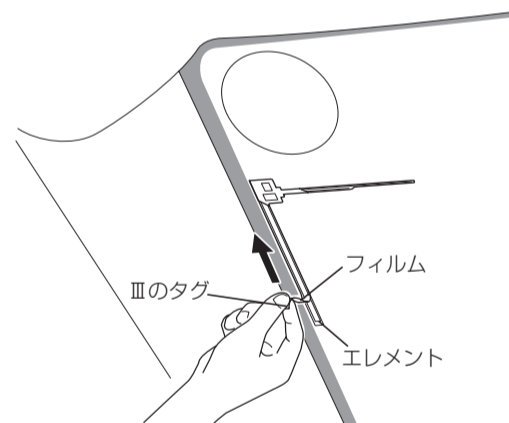


(4) 全面貼り付け後、エレメント上を強く押さえしっかりと密着させる。

- 給電部は気泡が残しやすいので念入りに加圧してください。
- ※ 加圧が不足するとフィルムをはがす際にエレメントがはがれたり断線するおそれがあります。
- 加圧はエレメントを中心にしてください。
- フィルムをフロントガラスに貼り付けた状態で車外から貼付部に気泡が残っていないか確認し、残っている場合は再度その部分を加圧して気泡がなくなったことを確認してください。
- マーキングをはがしてください。

(5) IIIのタグを持ってフィルムをゆっくりとはがす。

- エレメントがフロントガラスに転写されているのを確認しながらゆっくりとはがしてください。
- ※ IIIのタグ以外のところよりはがさないでください。また、勢いよくはがさないでください。エレメントが断線する原因となります。
- IIIのタグからゆっくりとはがしてもフィルムと共にエレメントがはがれる (フロントガラスに転写されていない場合は、再度フィルムをフロントガラスに貼り付け、エレメントを強くこすり直してください)。
- ※ フィルムをはがした後はエレメントの給電部にふれないでください。皮脂により給電部がさびて性能が低下するおそれがあります。
- 貼付完了後には柔らかい布等で上から押さえつけるように加圧してください。このとき、エレメント部を拭くような行為はやめて、押さえつけるだけにしてください。



3 給電端子をエレメントに取り付ける

(1) エレメントケーブルの給電端子をエレメントの給電部に取り付ける。

- 給電端子のはくり紙をはがして、エレメントの給電部の▲印と給電端子の先端の突起部を合わせて取り付けます。

お願い エレメント(A)にエレメントケーブル(A)を、エレメント(B)にはエレメントケーブル(B)を、取り付けてください。

